



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月8日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 4960 URL <https://www.chemipro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼俊 寿志
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 徳地 昭博 TEL 078 (393) 2524
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,456	△6.6	101	47.2	27	—	14	421.0
2025年3月期第1四半期	2,629	46.6	69	174.3	1	—	2	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	0.93	—
2025年3月期第1四半期	0.18	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	13,309	4,755	35.7	296.07
2025年3月期	13,297	4,777	35.9	297.43

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 4,755百万円 2025年3月期 4,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	8.1	600	49.2	400	130.4	250	95.2	15.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	16,623,613株	2025年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	561,596株	2025年3月期	561,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	16,062,017株	2025年3月期1Q	15,969,644株

- (注) 1. 期末自己株式には、信託が保有する当社株式（当第1四半期累計期間561,527株）を加算しております。
2. 期中平均株式数（四半期累計）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（当第1四半期累計期間561,527株）を控除して算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国による相互関税発動の示唆により、先行き不透明感が一層強くなる中、米国経済は、引続き底堅く推移した一方、欧州及び中国経済は低成長が続いており、地政学的リスクの長期化に加え、中東で武力行使を伴う戦闘が新たに勃発するなど、全体として非常に不安定な状況で推移しました。

このような経済環境の中、当社の属するファインケミカル業界につきましては、需要は昨年度後半の水準から更に減速感が強まりました。また、原材料価格やエネルギーコストは依然として高い水準が続き、利益面でも厳しい状況で推移しました。当社においては、拡販に努めて参りましたが、主に主力製品の販売が落ち込んだことにより、売上は減収となりました。利益面では昨年度に実施した価格転嫁の取り組みの効果もあり、増益となりました。

具体的な当第1四半期累計期間における当社の売上高は、化学品事業では、受託製造製品で拡販効果により増収となったものの、紫外線吸収剤は、昨年度後半からの需要減速の影響を受け、大幅な減収となりました。また、その他の製品分野でも販売強化に努めたものの売上は伸び悩み、事業全体として減収となりました。ホーム産業事業では、依然として消費マインドは低迷しているものの、木材保存薬剤の拡販に努め、前年同四半期を上回りました。結果、売上高全体では、前年同四半期比172百万円減の2,456百万円（前年同四半期比6.6%減）で着地いたしました。利益面では、昨年度に実施した価格改定の効果があつたほか、昨今の原材料価格、エネルギー価格の高騰などによるコスト増加に対する価格適正化の取り組みを推し進め、その一部について収益改善に寄与があり、営業利益は101百万円（同47.2%増）となりました。また、工場の稼働状況が前年同四半期と同水準で推移し、営業外費用として計上される生産休止費用は、前年同四半期と比較し6百万円増となる57百万円の計上に留まり、経常利益は27百万円（前年同四半期は経常利益1百万円）となりました。税引前四半期純利益については、特別損益の計上がなかったことから経常利益と同額の27百万円（前年同四半期は税引前四半期純利益1百万円）となりました。四半期純利益については、法人税、住民税及び事業税が17百万円、法人税等調整額が△5百万円となり14百万円（前年同四半期比421.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同四半期比302百万円減の1,153百万円（前年同四半期比20.8%減）となった他、酸化防止剤が同33百万円減の246百万円（同12.0%減）、写真薬中間体が同7百万円減の66百万円（同9.8%減）、電子材料が同1百万円減の11百万円（同12.7%減）となる一方で、受託製造製品が同158百万円増の589百万円（同36.7%増）、製紙用薬剤が同7百万円増の91百万円（同8.7%増）となり、全体では同180百万円減の2,172百万円（同7.7%減）となりました。

(ホーム産業事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同四半期比18百万円増の227百万円（前年同四半期比8.6%増）、その他が同10百万円減の56百万円（同15.6%減）となったことから、全体では同7百万円増の284百万円（同2.8%増）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円、%)

セグメント別	期別 区分	前第1四半期累計期間 2025年3月期		当第1四半期累計期間 2026年3月期		増減
		金額	構成比	金額	構成比	金額
化学品事業	紫外線吸収剤	1,455,502	55.4	1,153,254	46.9	△302,248
	写真薬中間体	73,764	2.8	66,525	2.7	△7,238
	製紙用薬剤	84,094	3.2	91,413	3.7	7,319
	酸化防止剤	280,586	10.7	246,923	10.1	△33,662
	電子材料	13,613	0.5	11,878	0.5	△1,734
	受託製造製品	431,081	16.4	589,190	24.0	158,109
	その他	14,036	0.5	13,124	0.5	△911
	(小計)	2,352,678	89.5	2,172,311	88.4	△180,366
ホーム産業事業	木材保存薬剤	209,624	8.0	227,724	9.3	18,100
	その他	67,185	2.6	56,712	2.3	△10,473
	(小計)	276,810	10.5	284,436	11.6	7,626
合 計		2,629,488	100.0	2,456,748	100.0	△172,740

(注) 金額には、消費税等を含んでおりません。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期末（以下「当四半期末」という。）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という。）比11百万円増加し、13,309百万円となりました。流動資産は同115百万円減少の7,932百万円、固定資産は同126百万円増加の5,376百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が94百万円、その他の流動資産が228百万円減少した一方で、商品及び製品が69百万円、原材料及び貯蔵品が129百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産のその他（純額）が76百万円増加したことなどによるものであります。

当四半期末の負債は前期末比33百万円増加し8,554百万円となりました。流動負債は同192百万円増加の6,200百万円、固定負債は同159百万円減少の2,353百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が219百万円、電子記録債務が121百万円増加した一方で、その他の流動負債が123百万円減少したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が195百万円減少したことなどによるものであります。

当四半期末の純資産は前期末比21百万円減少し、4,755百万円となりました。純資産の減少の主な要因は、四半期純利益を14百万円計上した一方で、配当金の支払58百万円があったこと、その他有価証券評価差額金が21百万円増加したことなどであります。この結果、自己資本比率は35.7%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、相互関税に端を発する米国通商政策の変化に伴う貿易摩擦懸念等、今後、様々な変化が生じ、先行き見通しが極めて難しい状況が続いていくものと想定され、物価をはじめとする各種コストについても、高騰もしくは高止まりの動きが続くものと思われまます。このような状況下、当社を取り巻く事業環境も同様に厳しく、今後の業績に大きく影響が出る可能性があります。

このような中、当第1四半期累計期間の業績は2025年5月9日発表の通期業績予想に対して、売上高は弱含んで推移しております。主要因は主力製品である紫外線吸収剤の需要が極めて低調なことではありますが、今後、新たな製品の販売展開などを行うことも含め、現段階では年度後半の回復を見込んでおります。一方、進捗が遅れている利益面につきましては、長年続いてきた各種コスト高騰に対する製品価格の適正化を引き続き進めるとともに、原材料をはじめとする各種コストの低減に努めて参りますが、通期計画達成については、予断を許さない状況が続くと考えております。

これらを踏まえ、現段階では通期業績予想の修正は致しませんが、引き続き慎重に業績の進捗を判断し、適時に見直して参る計画であります。業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,149,036	2,200,825
受取手形及び売掛金	2,200,499	2,105,687
電子記録債権	42,192	59,142
商品及び製品	2,544,383	2,613,752
仕掛品	124,268	64,387
原材料及び貯蔵品	558,927	688,902
その他	428,948	200,494
貸倒引当金	△471	△440
流動資産合計	8,047,786	7,932,751
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	907,963	906,982
土地	2,856,882	2,856,882
その他（純額）	943,746	1,020,430
有形固定資産合計	4,708,592	4,784,295
無形固定資産		
ソフトウェア	845	23,086
ソフトウェア仮勘定	91,000	101,832
その他	7,979	7,979
無形固定資産合計	99,825	132,899
投資その他の資産		
投資有価証券	254,891	288,932
その他	200,899	184,773
貸倒引当金	△14,184	△14,094
投資その他の資産合計	441,606	459,611
固定資産合計	5,250,024	5,376,806
資産合計	13,297,811	13,309,557

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,014,695	1,234,331
電子記録債務	499,980	621,546
短期借入金	2,550,000	2,550,000
1年内返済予定の長期借入金	952,500	898,125
未払法人税等	44,796	24,652
賞与引当金	93,477	143,092
その他	851,862	728,466
流動負債合計	6,007,312	6,200,214
固定負債		
長期借入金	1,682,500	1,487,500
退職給付引当金	572,189	581,636
役員株式給付引当金	9,950	12,628
従業員株式給付引当金	5,389	7,048
その他	243,179	265,054
固定負債合計	2,513,207	2,353,868
負債合計	8,520,519	8,554,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,060,713	1,060,713
利益剰余金	1,595,938	1,552,619
自己株式	△186,934	△186,934
株主資本合計	4,625,070	4,581,750
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	152,220	173,723
評価・換算差額等合計	152,220	173,723
純資産合計	4,777,291	4,755,474
負債純資産合計	13,297,811	13,309,557

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	2,629,488	2,456,748
売上原価	2,287,601	2,086,243
売上総利益	341,886	370,504
販売費及び一般管理費	272,737	268,732
営業利益	69,149	101,771
営業外収益		
受取利息	1	14
受取配当金	3,762	3,496
受取賃貸料	1,800	1,800
その他	1,817	1,944
営業外収益合計	7,381	7,256
営業外費用		
支払利息	17,645	20,857
生産休止費用	51,359	57,836
賃貸収入原価	114	114
その他	6,343	2,686
営業外費用合計	75,463	81,494
経常利益	1,068	27,532
税引前四半期純利益	1,068	27,532
法人税、住民税及び事業税	8,000	17,832
法人税等調整額	△9,785	△5,161
法人税等合計	△1,784	12,670
四半期純利益	2,852	14,862

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期累計期間（自2024年4月1日至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
（単位：千円）

	報告セグメント		合 計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	1,455,502	—	1,455,502
写真薬中間体	73,764	—	73,764
製紙用薬剤	84,094	—	84,094
酸化防止剤	280,586	—	280,586
電子材料	13,613	—	13,613
受託製造製品	431,081	—	431,081
木材保存薬剤	—	209,624	209,624
その他	14,036	67,185	81,221
顧客との契約から生じる収益	2,352,678	276,810	2,629,488
外部顧客への売上高	2,352,678	276,810	2,629,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,352,678	276,810	2,629,488
セグメント利益	176,110	9,728	185,838

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	185,838
全社費用（注）	△116,689
四半期損益計算書の営業利益	69,149

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
（単位：千円）

	報告セグメント		合 計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	1,153,254	—	1,153,254
写真薬中間体	66,525	—	66,525
製紙用薬剤	91,413	—	91,413
酸化防止剤	246,923	—	246,923
電子材料	11,878	—	11,878
受託製造製品	589,190	—	589,190
木材保存薬剤	—	227,724	227,724
その他	13,124	56,712	69,837
顧客との契約から生じる収益	2,172,311	284,436	2,456,748
外部顧客への売上高	2,172,311	284,436	2,456,748
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,172,311	284,436	2,456,748
セグメント利益	212,876	12,168	225,044

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	225,044
全社費用（注）	△123,272
四半期損益計算書の営業利益	101,771

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	96,868千円	82,857千円